

ひとり歩き(徘徊) 高齢者早期発見 反射ステッカーを配布します



町では、外出後に自力で自宅に戻ることが難しい認知症の人が行方不明になった場合に、重大な事故を未然に防ぐために、個人を特定する番号をつけた靴ステッカーを無料で配布します。

あらかじめ、対象者の特徴や緊急連絡先などを町に登録していただきます。

登録した内容は、警察署等に情報提供し、万が一、行方不明になった場合の捜索に役立てます。

利用方法

対象者の家族、または支援者が地域包括支援センターで必要な手続きをしたあと、番号入りのステッカーを10足分配布します。ステッカーは、靴や杖などの持ち歩く物に貼ってください。



蛍光色の反射ステッカー
粘着力が強く、剥がれにくい！



一町民の皆様へー こんなときは声をかけてください

靴ステッカーを貼った高齢者を見かけ、次のような様子がみられたら声をかけてください。

- ▷夜間や早朝にひとりでいるとき
- ▷道端などに座り込んでいるとき
- ▷赤信号でも横断しようとしたり、車道を歩くなど危険な行動がみられるとき
- ▷困ったような様子がみられるとき

声かけの例

「どちらへ行かれますか？」 「何かお困りの事はありませんか？」 「大丈夫ですか？」

声をかけても不安な様子がある場合は、地域包括支援センター、または厚岸警察署（52-0110）に連絡をお願いします。

問い合わせ 地域包括支援センター(保健福祉総合センターあみか21内) ☎53-3333